

チュートリアル課題 どこも悪くないんだけど

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032694

2016年度 Segment. 6

課 題 No.1

課題名：どこも悪くないんだけど

課題作成者：神経内科学
神経内科学
神経内科学
解剖学

吉澤浩志
飯嶋 睦
北川一夫
藤枝弘樹



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

吉川靖雄さんは64歳の右利き男性。会社で会議中に、突然左手足の動かしくさと、しびれを自覚しました。また発表時の板書では右に大きく偏って書かれていました。ペンを取ろうとしたら、左前方におかれているペンに気がつきませんでした。15分後にはこれらの症状はなくなりました。

シート2

靖雄さんは以前から不整脈があり、内服薬が処方されていましたが、最近忙しくて飲み忘れが多かったようです。数年前にも同様の症状で入院したことがあって心配となり、かかりつけの病院を受診しました。血圧146/92、脈拍60/分、不整、神経所見は特にありませんでした。緊急で心電図と頭部CTの検査をすることになりました。

シート3

医師から「今回の症状の原因となりうる新しい病変はないようです。薬をきちんと飲むように」といわれ、帰宅しました。翌朝6時に起床時に、再び、左手足の動かしにくさと、感覚の鈍さを認めました。また奥さんは靖雄さんが右の方ばかり向いていることに気づきました。しばらく様子を見ていましたが、症状が改善しないためかかりつけ病院に連絡したところ救急病院を受診するように言われ、救急外来を11時過ぎに受診しました。

シート4

受診時の血圧は150/86 mmHg 脈拍78/分 不整、神経所見は、左顔面を含む片麻痺、左半身感覚鈍麻、左上下肢の腱反射の亢進、左側のバビンスキー徴候を認めました。視野障害はありませんでした。靖雄さんに「どこか困ったことある？」と聞くと、「別にどこも悪くない」と答えました。靖雄さんに「この植物の絵を写して」「紙に書かれている線の全てに印をつけて」と伝えたら資料3-1, 3-2のような絵を描きました。また「この線分のちょうど真ん中を点で区切って」といったら、資料3-3の場所に印をつけました。頭部MRI, MRA、血液検査を施行後、すぐに点滴治療が開始されました。

シート5

嚥下に問題ないことが確認され、点滴治療から内服薬に変更されました。

主治医から再発予防の内服薬の説明を受けました。靖雄さんは納豆が好物なので、納豆を食べても良い薬にしてみようことにしました。また脳梗塞を起こす可能性のある他の病気の治療や食事療法も必要だと言われました。左手足の運動麻痺と感覚鈍麻、左半側空間失認症状は残存しているため、リハビリテーションを開始することになりました。